

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	レジデンス宝塚 新築工事	階数	地上7F
建設地	宝塚市新明和町1-1の一部	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	132 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2020年12月8日
敷地面積	3,014 m ²	作成者	登録番号 03190-25 岡 広
建築面積	635 m ²	確認日	
延床面積	2,679 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.1 ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.9

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 ■建物ボリュームの低減:容積率200%に対し、88%と余裕のある計画 ■建物高さを抑え、近隣住宅街への環境負荷を低減 ■周辺環境との調和:宝塚市にふさわしい色調 ■外装計画:脱落の恐れのない大判タイル調の特殊塗装	その他 ■宝塚市デザイン協議部会での審査を経て、周辺環境との調和に配慮 ■既存建物を現場詰め所として利用し、施工時での環境負荷を低減	
Q1 室内環境 ■複層ガラスを前居室の窓ガラスに採用 ■高い昼光率の確保 ■F☆☆☆☆かつVOCの放散量の少ない建材の採用 ■すべての居室に日射遮蔽を配慮	Q2 サービス性能 ■維持管理に配慮した外装材の採用 ■地下設置を避けた設備室 ■十分な天井高さの確保	Q3 室外環境(敷地内) ■建物配置、色彩のまちなみへの調和による景観配慮 ■空地率、中高木の確保による敷地内温熱環境の向上 ■外構に浸透地下ドレンの採用
LR1 エネルギー ■省エネルギー性の高い複層ガラスの採用により、優れたBPI値を獲得	LR2 資源・マテリアル ■化学物質排出把握管理促進法対象物質を含有しない建材種別4以上 ■グリーン購入法調達品目、エコマーク取得のリサイクル建材の使用 ■ゼロフロン断熱材の採用	LR3 敷地外環境 ■敷地内に十分な駐車、駐輪スペースを確保 ■屋外広告物照明の不採用による光害の抑制

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される